旭川医科大学非常勤職員給与規程の一部を改正する規程を次のように定める。

旭川医科大学長 西 川 祐 司

旭川医科大学非常勤職員給与規程の一部を改正する規程

旭川医科大学非常勤職員給与規程（平成16年旭医大達第155号）の一部について、下表右欄（「現行」欄）を、同表左欄（「改正後」欄）のように改正する。

※下線部分は改正箇所を示す。

改正後	現行
<p>(略)</p> <p>(臨床研修手当)</p> <p>第13条の2 臨床研修手当は、医師法及び歯科医師法に基づく臨床研修を受ける研修医に支給するものとし、手当の月額は、<u>65,000円</u>とする。</p> <p>(削除)</p> <p>2 1の月の中で日給が支払われない日があるときは、その月の手当額は、日割りにより支給する。</p> <p>3 前項の日割りは、月の現日数から就業規則第27条に規定する所定休日を差し引いた日数（以下「要勤務日数」という。）を基礎として次の算式により計算する。</p> <p>日割額＝（手当の月額）×（1の月における日給の支給日数）／（要勤務日数）</p> <p>(超過勤務手当)</p> <p>第14条 就業規則第30条第1項の規定に基づき、所定勤務時間以外の</p>	<p>(略)</p> <p>(臨床研修手当)</p> <p>第13条の2 臨床研修手当は、医師法及び歯科医師法に基づく臨床研修を受ける研修医に支給するものとし、手当の月額は、<u>125,000円</u>とする。</p> <p>2 <u>前項の手当額には、割増賃金相当額を含むものとする。</u></p> <p>3 1の月の中で日給が支払われない日があるときは、その月の手当額は、日割りにより支給する。</p> <p>4 前項の日割りは、月の現日数から就業規則第27条に規定する所定休日を差し引いた日数（以下「要勤務日数」という。）を基礎として次の算式により計算する。</p> <p>日割額＝（手当の月額）×（1の月における日給の支給日数）／（要勤務日数）</p> <p>(超過勤務手当)</p> <p>第14条 就業規則第30条第1項の規定に基づき、所定勤務時間以外の</p>

時間（次条の規定により休日手当が支給されることとなる時間を除く。）に勤務を命ぜられた職員には、当該勤務を命ぜられて勤務した時間1時間につき、勤務1時間当たりの給与額に100分の125（その勤務が深夜に行われた場合は、100分の150）を乗じて得た額を超過勤務手当として支給する。

- 2 前項に規定する勤務1時間当たりの給与額は、日給の額を定められた1日の勤務時間数で除して得た額とする。ただし、寒冷地手当、特別看護業務手当及び臨床研修手当が支給される職員にあっては、当該手当が支給される月の勤務1時間当たりの給与額は、寒冷地手当、特別看護業務手当及び臨床研修手当の月額に12を乗じ、その額を1週間当たりの勤務時間に52を乗じたもので除して得た額を日給の額を定められた1日の勤務時間数で除して得た額に加算した額とする。

（略）

附 則

この規程は、令和5年6月21日から施行する。ただし、改正後の第13条の2及び第14条の規定は、令和6年4月1日以降に初期臨床研修を開始する者から適用することとし、なお、令和6年3月31日に初期臨床研修を受けている者の臨床研修手当額については、従前の125,000円とする。

【改正理由】

臨床研修手当の適正化に伴い所要の改正を行うものである。

時間（次条の規定により休日手当が支給されることとなる時間を除く。）に勤務を命ぜられた職員には、当該勤務を命ぜられて勤務した時間1時間につき、勤務1時間当たりの給与額に100分の125（その勤務が深夜に行われた場合は、100分の150）を乗じて得た額を超過勤務手当として支給する。

- 2 前項に規定する勤務1時間当たりの給与額は、日給の額を定められた1日の勤務時間数で除して得た額とする。ただし、寒冷地手当、特別看護業務手当が支給される職員にあっては、当該手当が支給される月の勤務1時間当たりの給与額は、寒冷地手当及び特別看護業務手当の月額に12を乗じ、その額を1週間当たりの勤務時間に52を乗じたもので除して得た額を日給の額を定められた1日の勤務時間数で除して得た額に加算した額とする。

（略）